

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300174		
法人名	有限会社 お元気村		
事業所名	グループホーム お元気ハウス		
所在地	佐賀県鳥栖市宿町門戸口1399番地1		
自己評価作成日	平成22年2月18日	評価結果市町村受理日	平成22年7月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	平成22年3月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【東館】その方の想いを第一に考え最大優先しながら、残り少ない人生と一緒に悩み・一緒に笑い・そして一緒に考え毎日の生活を送るよう心がけています。またご家族様からの意見には耳を傾け、真摯に受け止め確実な伝達を行い状況が一刻も早く解決・改善できるよう努力を重ねています。認知症があっても「その人らしさ」「人間らしさ」を大切に、利用者さん方には日々ご自分のペースで伸び伸びと感情豊かに生活していただきたいと思っています。そのために、勉強会・研修会・毎日の生活の中から職員同士で情報を共有し、この先もご家族様と一緒に利用者さんを支援していきたいと思っています。

【西館】利用者さん手作りの雑巾を、利用者さんと一緒に高校へ寄贈する・という働きかけを継続する事で、逆に高校生手作りの椅子を利用者さん方に寄贈していただいたり、高校生の吹奏楽演奏・地域の方の踊りの披露・夏祭りや餅つきの際は近隣の方が沢山参加していただき、利用者さん方の喜びも増えています。また、認知症を抱えた高齢者の方はご自分で体調不良を訴える事が困難な状況にある為、常に観察を必要としている訳です。医療従事者との密な連携を図りながら、ご家族の意向のもと終末期までお世話をさせていただく機会が多くあります。この先も私達自身が様々な事を学び、ご本人さん・ご家族・そして私達もなるべく悔いを残さないような支援を行っていきたくと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鳥栖市役所の近く、静かな住宅街の中にある2ユニットのホームである。各居室の壁紙やカーテン、ベッド等をそれぞれ違うものにしたりと、居室のドアを格子戸を思わせるような作りにして、家庭的な雰囲気作りを大切にしている。また、管理者と職員は、入居者、家族の思いを汲み取った介護計画を作成し、見直しを行いながらよりよいケアの実践に努めている。地域との共生にも配慮し、地区の行事等への参加や、ホームの理解を深めてもらうための広報誌を、年3回作成し配布している。入居者と家族がメインであるためにと創り上げた「いつも明るく楽しく」という理念を実践し、入居者の生活を大切にしたいという思いがあふれているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	東館	西館		東館	西館
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	○
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	○			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職時よりホームの理念を基にケアの実践を行うと同時に、理念を玄関先や休憩室など目に付きやすい場所に掲げ、常に意識付けが出来るよう心がけている	入所時よりホームの理念を基に取り組みを重ね、各会議においても支援の在り方について話す機会を設け、日々のケアに繋げる努力をしている	地域社会と共生しながら、入居者、家族がメインであるために、「いつも明るく楽しく」という理念を作り上げている。またその理念は、各職員がきちんと把握し、日々の実践の中に生かされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	日頃から利用者の方と散歩や買物に出かけ、挨拶を交わしていく中で気軽に声をかけ合ったり立ち寄りしていただける関係作りに努めている。また様々な行事を通し、地域より大勢の参加を頂き、お年寄りと触れ合う機会を設けている	散歩や買物に出向く事で近所の方と馴染みの関係作りに努めると同時に、ホームに気軽に立ち寄りしていただけるよう開放的にしている。又行事の際は地域の方が参加していただけるようなシステム作りに努めている	ホームが開所して8年が経過し、夏祭り等の行事開催や地区活動への参加など、地域へ向けての活動と努力により、地域との共生が十分に出来ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入所・認知症に関する相談に来られる方も増えており、助言を行ったりサービス対象の事業所を探すなど、その方のニーズに応えられるよう、満足していただけるよう対応している	地域との関わりを深める中で、認知症に関する相談を受け、助言を行ったりその後の対応や福祉サービスの紹介を行っている。又キャラバンメイトとして認知症の方を地域と一緒に支えていけるよう取り組んでいる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を開催し、ホーム内の現状を理解していただく機会を設けている。又その中で出た意見は、毎月開催される職員会議で報告し、全職員が情報の共有とサービス向上に繋げられるよう取り組んでいる	GHの必要性や事業所の姿勢を理解していただけるよう2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。その中で話し合った内容は各会議で報告すると同時に、その中で出た意見を基にサービス向上に繋げる努力をしている	2ヶ月に1回会議を開催し、行事、勉強会、事故報告などを行っている。会議録は整備され、出された意見等については、全職員で検討しサービス向上に努めている。	会議の参加者に行政の参加がない。毎回参加を呼び掛けているとのことであるが、参加の声かけを継続されることを期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村に出向き、常に意見交換を行うと共に、自分達のケアサービスの取り組みを伝えながら市町村より助言をいただく事で、ケアの質向上に努めている	市町村への働きかけを常に行い、意見交換を行っている。また市町村主催の勉強会に出席し、サービスの向上に努めている	頻回に市に出向き、相談等を行い協力関係が出来ている。また、市町主催の勉強会に参加し、テーマを決めて研修や研究を行い、サービスの向上に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は施錠せず開放的にしており、会議を通し身体拘束・言葉の拘束等を行わないような体制で取り組んでいる。もしも身体拘束の必要が生じた場合は、ご家族に説明し納得を得た上で、書面を通し契約を交わすシステムをとっている	玄関の施錠は行わず開放的にしており、勉強会や会議を通し、職員全員が身体拘束・言葉の拘束を行わないような体制で日々の支援に取り組んでいる	勉強会、会議等で職員全員が、身体拘束だけではなく、言葉による虐待などを行わないように理解を深め、日々の支援の中で取り組みを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	些細な言葉かけや言葉の使い方による精神的な虐待も起こさぬよう、会議の中で話し合う機会を設けている。又虐待について勉強会で学んだり、常日頃より職員同士が声をかけ合う等して防止に努めている	日頃より職員同士で意識付けを行い、声をかけ合うと共に勉強会を通して虐待について、みんなで学びながらお年寄りに対して尊敬の意を持ち接していくよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会・研修会の中で学ぶ機会を設け、必要に応じて活用していきたいと考えている	現在は福祉サービス援助事業であるあんしんサポートセンターの協力により安心して生活している方がおられるが、成年後見制度に関してこの先も必要に応じながら勉強を重ね、情報を提供していきたいと考えている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前は必ず見学をしていただき、充分説明を行ったうえで契約を結ぶようにしている。そのうえで疑問や不満がある場合は、いつでも説明を行い、納得がいくまで対応するよう心がけている	まずは見学をしていただき、不安や疑問がある場合はその都度説明を行い、納得・理解が得られるよう努めている。また契約の際も細かな説明を行い、疑問があればいつでも尋ねていただける様なシステムにしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんの悩みや不満を感じたら声をかけ、解消できるよう管理者や職員間で話し合いの場を設けている。又その内容を運営推進会議で協議し、幅広い意見をいただく事でより良い解決策へ導けるよう努めている	利用者さんの意見や要望を生活の中から拾い出す努力をしている同時に、家族の方もスムーズに意見を出せるような雰囲気作りに努めている。又家族会を通し、様々な意見を取り上げていただけるような体制をとっている	入居者との日頃の会話から、本人の思いを汲み取る努力を行っている。家族は、家族会や運営推進会議の中で意見を言えるような体制作りが出来ている。また、出された意見を運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃より職員の意見や提案があれば直ぐに聞く環境を整えており、より良い運営が行えるよう一緒に対策を考え、サービス向上に繋げるよう努めている	各会議で意見交換を行うと同時に、常日頃から代表者・管理者が職員と話す事によって、こまかな意見や要望を聞く事ができ、それをサービス向上に繋げられるよう努めている	管理者は、日頃から職員との会話を多く持ち、意見やアイデアを取り入れ、運営の中に反映させている。また、新人職員を研修するためのシステムも作られている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員を多めに配置・急な勤務変更が必要な場合は直ぐに連絡調整を行うと同時に、常にやりがいを持って働けるような環境作りに努めている。又常に職員個々を把握できるよう心がけている	常日頃から職員を多めに配置したり、急病の際は直ぐに連絡調整をすると同時に、離職を抑え、やりがいを持って働けるような環境作りに努め、常に職員個々を把握できるよう心がけている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が学びたい様々な内容を勉強会の題材としたり、施設外の研修会や交流会にも積極的に参加する事で、他の施設との交流を図っている。又常時研修生を受け入れ、双方が様々な事を学び幅広い知識を身につけられるよう取り組んでいる	職員個々を把握し、勉強会や研修会に出席する事でサービス向上に繋げられるよう努めている。又、事業所内にも研修生を受け入れ、職員個々が改めて考え・反省し今後活かせるような体制をつくっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者同士の研修会や交流会に参加したり、同業者との交互研修により新たな発見を持ち帰り、サービスの質向上に繋げられるよう努めている	同業者同士の研修会や交流会に出席したり、同業者との交互研修により新たな発見を持ち帰り、サービスの質の向上に繋げられるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者さんの様子や動きの中で心情を察知できるよう努めると共に、声かけや会話の中でその時々のお気持ちを受け止め安心を確保し、そのうえでニーズを拾い出せるよう心がけている	入所時より本人さんに関わる時間を密にし、不安な気持ちを汲み取る努力をすると同時に、常に本人さんの立場に立って考え、安心して生活していただけるような関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	どんな小さな意見であっても伺う姿勢を持ち、安心して私達に介護を任せたいだけよう、不安の解消に努めている	利用者だけでなく家族とも密に話し合いを重ね、不安な心情や要望をこと細かに聞く配慮をすると共に、一つ一つの想いを理解するよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	暫定プランを活用し、まず幅の雰囲気馴染んでいただける事を最優先し、その中でご本人さんに見合ったサービスが行えるよう努めている	暫定プランを活用し、それを基にサービスを提供しながら、場の雰囲気に慣れていただけるよう努めている。又家族・友人・親戚の方が気軽に来て頂く事で、入所前と変わらぬ雰囲気を保つことができるよう配慮している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	喜怒哀楽の感情を大切に、共に泣いたり笑ったり、その時々のお気持ちを共有しながら日々の生活を送っている。又人生の大先輩として、時には様々な事を教えていただき、常に支えあう関係を築けるよう努めている	常に尊敬の意を持ち、長く生きてこられた方ならではの知識や感じ方を学ばせていただき、共に生活していく中で、楽しい事も悲しい事も一緒にやり、共感していく努力を重ねている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	様々な事をご家族に相談し支援のヒントを得たり、共に悩んだりしながら一緒になって支えていけるよう心がけている。又残りわずかなお年寄りの時間を、常に良好な関係で過ごしていただく為に、私達が双方の橋渡しとなれるよう努めている	様々な状況においてご家族の想いを真摯に受け止め、悩みを共有し、共にご本人さんを支えていけるよう努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつ来訪者が来られても良いように開放的にしており、面会の際は温かな雰囲気を保ちながら、この先いつでも来ていただけるような環境作りを心がけている	いつ来訪者が来られても良い様に開放的で和やかな雰囲気が出せるよう努め、ご本人さんが安心して過ごせるよう、また橋渡しとなれるよう心がけている	いつでも誰が来てもいいように、開放的な雰囲気作りに努めている。入居者の友人や地区の方の訪問もあり、面会に来られる方と職員の関係も出来ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者さん同士の関係性を重視したテーブルの配置を考え、ホール内で孤立しないような空間作りに努めている。又作業や体操を通し、一緒の時間をつくる事で、楽しい時間を過ごせるよう配慮している	共に楽しく安心して過ごせる環境を提供し、必要に応じて職員が中に入る事で、温かな関係が築けるよう支援している。又個々の性格を配慮しながら、孤立する事がない様、一緒に過ごす機会をつくる努力をしている		

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院に至った際は、訪問医師・管理者が病院へ出向き、情報の伝達と共有に努めている。又早期退院の実現に向けて、他の医療関係との連携を図っている	入院に至った際はご家族に連絡したり、面会に出向く事で状況を把握している。また必要に応じて相談や助言ができるような関係を断ち切らないよう努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で入浴・食事等の好みや要望にできる限り沿えるよう努めると同時に、ご本人さんを取り巻く様々な人から情報を収集し、それを全職員で共有しながら、ご本人さんの想いを理解し検討できるよう心がけている	ケアプランを軸に、チームでより良い支援が出来るように、ご本人さんの想いをできる限り汲み取るよう心がけ、日常の中でも職員が意見を出し合い、ご本人さんの意に添えるような支援を心がけている	日々の暮らしの中で、ちょっとした表情や職員の言葉かけに笑い返してくれる表情を捉えて、思いをくみ取るように努めている。また、それを全職員で共有し、日々の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の基本情報を観察記録の巻頭に備え付けており、いつでも目を通せる状況を整え、ご本人さんとの会話やご家族・身近な人からも情報が得られるよう連絡をとり合い、ケアに活かせるよう努めている	入所時よりご本人さんやご家族よりできる限りの情報を収集し、入所後も随時継続させながら情報を聞き出す努力を重ね、常にケアに活かせるよう心がけている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々が得た情報を共有すると共に、申し送りを実践に行い、状況を把握したうえでケアの統一を図っている。又24時間シートの活用により1日の感情の起伏・過ごされている状況を把握するよう努めている	個々の性格や生活習慣・その日の体調により、記録を通し暮らしの現状把握に努め、チームで声をかけ合いながら支援できるよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	関わる全ての専門職及びご家族の意見を基にカンファレンスを行い、様々な意見を出し合いながらご本人さんの現状に即したプラン作成に反映させる事が出来るよう取り組み、より良い生活が送れるよう努めている	ご本人・ご家族・医師・看護師・介護者等関わる全ての者が意見を出し合い、意向に沿ったプランをチームで作成すると共に、達成できているかのチェック・見直し(期間毎・状況変化の際)を行い常に現状に即したプランを作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、関わる専門職と話し合い、介護計画を作成している。また、介護計画のチェックや見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24時間シートを通し細かな記録をとり、その記録を持ち寄りながらプランを作成している。又その時々様子や感情の理解に努め、見直しを行う材料としている	日中～夜間を通し、その時々様子を個別に記録しており、情報を共有する事によって、その後の支援やプラン作成に活かしている。又こと細かに記述する事で些細な変化も見逃さないよう努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者・家族のニーズに添いながら個別援助を行い、それに加えその時々状況に応じ、最善の支援が行えるようチームで意見を出し合い、その人らしい取り組みが出来るよう心がけている	利用者・家族のニーズに添いながら、その時々状況に応じた個別支援・最善の支援が行えるようチームで意見を出し合い、その人らしい生活が出来るよう心がけている		

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の高校へ慰問・ボランティアによる吹奏楽演奏や踊り・消防署からの定期的な救命指導・民生員や介護相談員の会議への参加、又近隣の美容室へ出向くなど、ご本人さんが生活を楽しむ機会を設けるよう努めている	民生員・消防署・ボランティアの方々の協力により、勉強会・様々な行事・会議の参加を頂くと共に、病院受診や希望によっては美容院へ行き、ご本人さんらしい生活が送れるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常にかかりつけ医との連携を図り、24時間適切な医療を受けられるよう支援していると同時に、他の医療機関への受診を希望されれば、連携をとり合いながら情報を共有できるよう努めている	常にかかりつけ医との連携を図り、24時間365日適切な医療を受けられるよう支援している。又ご家族の通院介助が困難な場合は、事業所サイドがフォローできるよう努めている	受診は、本人及び家族の意向を優先し対応している。かかりつけ医との連携を図り、24時間適切な医療を受けられるよう支援している。また、かかりつけ医が月曜から金曜まで訪問して診療を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日看護師が常駐しており、何かあれば直ぐにみて貰える体制が昼夜問わず整っている。又些細な疑問や不安も相談できる状況であり、様々な専門職が一つになって利用者さん個々の健康管理に努めている	毎日看護師が常駐しており、日頃より利用者さんの状況を相談しながらケアに活かしている。又不安な事や分からない事が生じた場合は、いつでも相談する体制を整えている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期に退院できるよう常日頃から医療機関との連携を図り、入院したご本人さんが少しでも負担を軽減できるよう・できる限り日々の生活を変える事がないよう情報交換を密に行っている	早期に退院できるよう常日頃から医療機関との連携を図り、入院した本人さんが少しでも負担を減らせるよう・できる限り日々の生活を変える事がない様、病院との情報交換を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常日頃から、利用者さんは「いどうなるかわからない」という状況を全ての職員が理解し、いつ終末期を迎えてもご家族やご本人・そして私達も悔いを残さないよう、日々ご家族の意向をお伺いしながら支援できるよう努めている	勉強会を通し知識を身に付け、どのような支援を行っていくか、専門職が全員で個々の終末期についてその都度話し合い、起こりうる変化についても様々な局面から予測し、話し合いを重ねながら最善を尽くせるよう努めている	日頃から終末期のあり方については、本人、家族の意向を聞き取り、実際に終末期になった時に、個々の状況に合わせた介護計画を作成し対応している。また、介護計画は職員全員で共有し、支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議の度に事故の報告を行い、みんなで同じ事故を起こさないよう話し合い、勉強会においても様々な事を学ぶと同時に、定期的に消防署の協力を得ながら応急救護についての講習会を開催し、全ての職員が身につけられるよう努めている	消防署より4ヶ月に1回心肺蘇生の勉強会を開催していただき、繰り返し訓練をしていると同時に、勉強会で急変時の対応法や高齢者に起こりうる事故・病気について学び、実践力を身につける努力を重ねている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者さんと共に定期的に避難訓練を行い、手順を熟知できるよう努めている。又緊急の際は地域住民の方々に協力を得られるよう、地域の会議の中で話し合える場を設けていただいている	定期的に利用者さんと一緒に避難訓練を行っている。又緊急の際は地域住民の方々の協力を得られるよう声かけを行っている	定期的に避難訓練を行い、手順を確認し、緊急の時にも慌てず対処できるようにしている。また、訓練後は反省会を実施し、より良い訓練のあり方について検討している。	

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々のプライドや羞恥心を配慮し、言葉かけや対応には充分注意を払う心がけている。又会議の中で話し合いの場を持ち、最善のケアが提供できるよう努めている	常に尊敬の意を忘れず、言葉かけや対応には充分注意し、会議の中でも議題に取り上げ話し合い、自らを振り返りながらケアに活かせるよう努めている	一人ひとりの言葉や行動を尊重し、入居者を否定しない言葉かけを行っている。また、日頃から言葉使いなどを、管理者がアドバイスし、会議等で話し合いの場を持ち、最善の支援が出来るよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限りご本人さんに決定権を持っていただけるような声かけの工夫を行い、常に利用者さんの思いや希望を最優先できるように努めている	できる限りご本人さんの意志の決定ができるよう配慮し、その都度、意向を確認しながら支援するよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを大事にした時間の過ごし方を大切に、その人らしい生活が送れているかを評価会議の中で定期的に話し合っている	個々の生活のペースを大切に、どうしたらその方の想いに添えるかを、常に利用者さん側に立ち考え、その都度ご本人さんの意向に応じた支援ができるよう心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人さんの好まれる衣類を着用していただいたり、月に1度美容師の方が来訪されカットや顔剃りをしていただく。又ご本人さんの希望によりご家族の方によりカットしていただく等、その人らしい生活を送っていただいている	月に1度、美容師の来訪によりカット・顔剃りの支援を行っていただいている。又ご本人さんの意向に応じ、希望されれば望むお店に行けるよう対応している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買出しから下ごしらえ・配膳・後片付けまで、個々の力を発揮しながら手伝っていただき、楽しい食事となるよう支援している。又おやつを作る過程から一緒に行う事で、楽しみの一つとなれるよう心がけている	個々の力に合わせ、下ごしらえのお手伝い・食事の準備・配膳・後片付け等を行っていただいている。又利用者さんの好みのメニューを取り入れながら楽しい食事となるよう心がけている	個々の好みや力に合った食事支援を行うために、入居者のおいしいと言う声を聞き逃さないようにしながら、食事が楽しみなものとなるよう心がけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取表を活用し、個々の摂取量を把握しながら、時間に関係なくご本人さんのペースに合わせた支援を心がけている。又個々の力を最大限に使えるよう配慮し支援を行っている	個々の状況に応じた食事の形態・材料等、お一人お一人に合わせ、無理なく24時間を通し水分補給や食事摂取が確保できるよう配慮している。又水分を好まれない方には、味を変えたりゼリーや氷状にする等、工夫を凝らし支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを徹底し、状況に応じてご家族と相談しながら歯科の往診を受けている。又必要な方には歯間ブラシ等の器具を使用し、口腔内の清潔に努めている	毎食後口腔ケアを行い、時には歯科医師より指導を受け、個々に合わせ工夫しながら支援している		

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価		
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンチェック表を活用し、個々を把握したうえで、なるべく気持ちよくトイレで排泄していただくよう支援している。又誘導時間以外でも、個々に応じた排泄の支援が行えるよう努めている	排泄パターンチェック表を活用し、個々の状況を把握したうえで、なるべく気持ちよくトイレで排泄していただくよう心がけている。又誘導時間以外でも、個々に応じた排泄の支援を行っている		一人ひとりの排泄状況を把握し、声かけやトイレ誘導の際に工夫をし、個別に応じた排泄の支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃から水分補給や牛乳の飲用を促す・腹部のマッサージや適度な運動等の配慮を行い、個々の排便状況を把握したうえで、なるべく苦痛なくスムーズな排泄が出来るよう努めている	便秘予防に牛乳やヨーグルトの摂取・こまめな水分補給・運動などに努めると同時に、医師の指示のもと内服管理を行い、便秘が原因で不安にならぬよう支援している			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入りたい方は毎日入浴していただき、体調が悪く入浴できない方に対しては清拭を行ったり日をずらす等、個々のタイミングに合わせて入浴の機会をつくるよう心がけている	個々の体力やその日の体調に合わせて入浴が出来るよう努めると共に、希望される利用者さんに対しては時間や曜日の限定を行わず、入りたい時に対応している		入浴は毎日実施し、一人ひとりの体調に合わせてながら、夜間など希望の時間帯にも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムが崩れない程度に休息の時間をとっていただき、夜間も安眠できるよう空調や寝具の調節に努めている	その日その時の体調により休息の時間を設け、眠れない方がおられても無理に休ませるのではなく、安心して休んでいただける配慮をしながら支援している			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の内服に関しての一覧表を作成しており、いつでも目が通せるようにしている。又臨時で出た薬も用量や用途についてその都度看護師より説明を受け、症状についての記録・申し送りを行っている	薬の内容を、保管している場所に貼り出すと同時に、重要性や副作用・性状等を看護師が指導し、認識できるよう努めている。又内服チェック表を通し、確実な服薬支援ができるよう努めている			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の情報や残された力を基に、その方に合わせて家事・作業をしていただく。又誕生会や慰問・レクリエーションなど、利用者さんの楽しみとなるよう、季節に応じ計画している	それまでの生活歴や性格、今ある力に合わせて様々な作業やお手伝いをさせていただく。又散歩や買い物などに一緒に出かけ、気分転換を図りながら、楽しい生活を送っていただけるよう配慮している			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の散歩や買い物だけ出なく、季節に応じて花見や虫見学等、ご家族の協力を得ながら郊外に出る機会を設けている。又希望によってはご家族に連絡をとり、ご本人さんの意に添いながら毎月、外食・外泊等の支援を行っている	気候や体調を考慮したうえで、その日の希望に添って外出ができるよう支援したり、食材の買出しや屋外散歩・外気浴を楽しんでいる。又ご家族が面会の度、共に散歩をしたり近くの店に連れて行かれ、ケーキを食べるなどして楽しんでおられる		一人ひとりの希望や体調を見ながら、定期的及び随時に外出支援を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価 ユニット名(東館)	自己評価 ユニット名(西館)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理が難しい方が多く、現在は個人で所有している方はおられないが、買い物の際に状況が許せば、おつりの受け渡し等をしていただくよう努めている	本人さんの残された力や要望に応じ、お金を所持されたり預かる等の支援を行っている。又買い物の際は欲しい物を購入できるよう助言を行いながら支払いまで一緒に行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば随時電話をかけて話をされるよう配慮している。又手紙が届いた時はご本人さんに手渡し、返事を書かれた時は一緒にポストに投函するまで支援している	ご本人さんの希望があれば自由に電話ができるような体制で、想いが上手く伝えられない時は職員が代わってお伝えしている。又本人さん宛ての手紙も、状況によっては読む等の支援をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者さんが活かした生花や、その季節のイベントに合わせ飾り付けをする事で、生活感・季節感を味わっていただくよう努めている。又くつろぎの空間としてソファや畳を配置し、テーブル席や車椅子以外にも心地よく過ごしていただける場所作りにも心がけている	季節感を感じていただけるよう、その時々の方々に合わせてホール内の飾り付けをしている。又外からの程よい日差しも取り入れ、暖かい雰囲気・生活感を感じていただけるような空間作りを心がけている	共有の空間には、季節を感じてもらえるような飾り付けを行っている。また家具の配置を工夫して、入居者の方が居心地よく過ごせるような場所作りを心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人掛けソファや一緒に座れるソファ、仲の良い方達には一緒に過ごしていただける場の提供を行い、その時々的心情・状況に合わせた支援が出来るよう心がけている	一人掛けソファや一緒に座れるソファ、仲の良い方達には一緒に過ごしていただける場の提供、部屋同士を行き来する等、その時々的心情・状況に合わせた支援ができるよう心がけている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の居室内は思い思いに飾りつけがなされており、タンスやテレビ・神棚など使い慣れた物・長年使った物をご家族の協力のもと配置し、安心した生活が送れるよう支援している	以前の暮らしで馴染みのある物は持ち込んでいただけるよう説明しており、ご家族の写真・エレクトーン・テレビ等を置いたり使用していただく事で心地よい環境で安心して過ごしていただけるよう配慮している	居室は、本人の使い慣れたものや、好みのもを持ち込んで使いやすいように配置されている。壁紙やカーテン、ベットを居室ごとに変更し家庭的な雰囲気作りに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家庭的な雰囲気を壊す事のない様配慮しながら、廊下の手すり・トイレ内のL字型手すり・段差をなくす・浴室内の滑り止めなど、工夫しながら自立した支援が出来るよう心がけている	家庭的な雰囲気を壊す事のないよう配慮しながら廊下の手すり・トイレ内のL字型手すり・段差をなくす・浴室内の滑り止め・個人的にはマットの下の滑り止め等、工夫しながら安全に、可能な限り自立した支援が行えるよう努めている		